

# 獨楽会

Himeji Dokkyo University Alumni Magazine

姫路獨協大学同窓会報

2006.8.15 Vol.18

姫路獨協大学同窓会事務局 / 〒670-8524 姫路市上大野7-2-1 TEL & FAX.079-223-9263

URL <http://www.hdud.gr.jp> E-mail [honbu@hdud.gr.jp](mailto:honbu@hdud.gr.jp)

## ごあいさつ 同窓会副会長 鈴木 勝



残暑の候、同窓生各位におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は同窓会の活動におきましてご理解ご協力賜り、厚くお礼申し上げます。

近頃、心痛めるような暗いニュースや不安なニュースが多く続いています。各方面で同窓生が活躍されたという話を最近よく耳にする事があり、それが私心の一服の清涼剤となっています。

さて、姫路獨協大学は今年から来年にかけ、大きく変革を迎える年となります。本年度は以前から同窓会報などで幾度かご報告させていただいておりました、リハビリテーションを中心とした5学科からなる医療保健学部を開設。また来年度には薬学部の開設を予定しており、外国語と法学から開学した本学が今、医療保健及び薬学という新たな分野への展開も含めた改革を行おうとしております。

しかし大学全入時代直前の今年、入学定員を割った大学は全国で4割、短大ではおよそ半数の5割という深刻な状況であり、本学もその例外ではありません。そんな中、各大学においても教育環境や学生サービスの向上、入試制度の多様化など、多方面から学生獲得へ向けた改革が行われており、姫路獨協大学も激化した大学間競争を生き残るため、いち早く今後の具体策をより明確化し、世間にアピールしていく事が急務ではないかと考えています。

また同窓会としましても第三者的観点から大学内外の評価を行う事や、種々の同窓会活動を通して大学を側面から盛り上げて行く事など、鋭意努力を重ねていく所存ではありますが、しかし何よりも同窓生の方々の多方面での活躍が、本学の活性化に一番効果的である事は言うまでもありません。

最後になりましたが、皆様のより一層のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。

## 同窓会(獨楽会)総会と懇親会のご案内

第10期同窓会総会を志湧祭の日程にあわせて、10月22日(日)に開催します。総会終了後には新しく整備された医療保健学部棟の見学会と恒例の懇親会も予定しておりますので、是非ご参加下さい。出欠のお返事は同封のハガキまたはメール、FAXにて10月10日まで(必着)にお寄せ下さい。

- 日時 平成18年10月22日(日)
  - ・総会 / 10時30分～
  - ・見学会 / 11時30分～
  - ・懇親会 / 12時～
- 会場 姫路獨協大学本部棟西館 5階 第一会議室  
(正面玄関向かって左の建物)
- 議題 第9期事業報告と決算  
第10期事業報告と予算 他
- 参加費 無料

## 同窓会の教養講座 社会保険労務士受験対策講座のご案内

社会保険労務士(社労士)は、労務・人事、労働、社会保険・年金関連の国家資格です。年金問題に強くなりた方、労務管理のプロになりたい方、就・転職の切り札にしたい方におすすめです。

お申し込みはメールまたはハガキで、住所、氏名、電話番号、卒業年を明記して姫路獨協大学同窓会事務局までお送りください。

- 会場 姫路獨協大学講義棟 205B教室
- 期間 平成19年2月3日～8月4日  
各土曜日(計25回)
- 時間 13時～17時
- 受講料 姫路獨協大学同窓生=3万円  
一般市民=5万円  
(教材費5千円別途必要)
- 締切日 平成19年1月26日

※詳しくは10月以降の同窓会ホームページ(<http://www.hdud.gr.jp>)で

## 医療保健学部の開設を祝う

今春から新たにスタートした医療保健学部の開設を祝う記念式典が5月29日、地元行政、自治会など関係者約150人を招いて本学創立15周年記念館で開催されました。

式典では、大塚健洋学長が「本学は文理総合大学へ発展し、ますます地域に愛される大学を目指す」と主催者を代表して挨拶し、続いて獨協学園の寺野彰理事長が記念講演の中で、医療保健学部と獨協医科大の連携の方針などについて説明し、卒業生の地元採用を出席者らに呼びかけました。式典終了後は会場を医療保健学部棟に移し、施設見学会が行われました。



## 本学首脳陣と同窓会役員が懇談会



原副会長ら6人が出席しました。

席上、大塚学長は「リバイバルプラン」と称して再建5カ年計画(6ページに掲載)を発表されたほか、同窓会が提出していた要望・質問事項についても回答(8～9ページに掲載)されました。率直に意見を交わす中で、さらなる改革を求めるとともに同窓会も本学の運営に協力していくことを約束しました。

本学首脳陣と同窓会役員が、入学生の減少傾向が続く本学の再建策について議論する初めての意見交換会が6月6日に開催されました。大学側からは大塚学長、中元副学長、桐岡事務局長、各学部長、同窓会からは武本錠治会長、森

